

国際交流友の会 I. E. F. A.	
設立目的	国際交流
会の特徴	ありのままに、気楽に、ほそぼそとやり続ける。国際交流を思い生きものを取りまく環境に心をくばる。私も出来る国際協力“食べのこしません。”にとりくむ。
連絡先	〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-6-1 アジアセンター Mail : ligimei@yahoo.co.jp 代表者 世話役 李 義明、徐 宝祥、林 水木
設立年月日	1987年2月1日
会員数	数517人(2002年4月現在)
入会条件	国際交流を思う人
活動内容・時期	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の交流(中国語、韓国語、英語、広東語、台湾語他)毎週火・金・土曜 ○物・心の交流(もてるものをわかちあう)詩集の発行に参加 ○歌、民謡、教科書(主に小学校)を訳して、楽しむ 春・秋 ○文化交流話談会(毎週水曜) ○日本文化学習会(毎月第一木曜) ○各種団体(学校、自治体、地域グループ等)の友好関係の仲介、通訳、翻訳派遣協力をする。 ○日本語ボランティア指導者養成講座を開催 毎週水曜 ○手作り作品展示発表、ギャラリーの設置(国際交流に役立つ展示は無料で開催する事が出来る) ○図書クラブを設置。まんが専門室を準備。古書の利用拡大で木々の保護をかり、環境を考える。 ○震災の館を設置。「しんさい器(うつわ)生きのこり展」等を開催する。 ○過疎地との交流の為、民間大使をおく。 ○新聞、雑誌、ダンボール、アルミ缶等のリサイクルに取り組む。 ○小音楽会を開催 ○在日外国人で障害のある方、被災にあわれた方やお年寄りを訪問し、交流を深める。 ○私も出来る国際協力“食べのこしません”の呼びかけをする。 誰でも出来る、身近な国際協力 残さず食べる、食材を使い切る。 身近のものを食べる、土に戻るものは全て戻す。
メッセージ	<p>国際交流グループも、自分達の住む地球についても考える必要が生まれて来ました。生命あるものとの共生をめざして、自然界にあるものの有効利用を考えてゆきたい。</p> <p>一草一人在大地 草木天地</p> <p>一草一人大地ニアリ 草木ガ天地ヲ養ウ</p> <p>One weed, one man lives on this ground Weeds and trees nourish this sky and ground where we live</p> <p>Viven una yerba, una persona con la bendicion de la tierra Criar las yerbas y los arboles nuestra tierra en que vivimos.</p>